

ながの環境パートナーシップ会議 通常総会 議事録

日 時 平成 23 年 6 月 4 日(土) 午後 2 時から午後 4 時 50 分まで

場 所 サンパルテ山王 5 階 穂高の間

出席者数 78 名 (出席:33 名 委任数:45 通 午後 2 時現在 会員数 109 名)

総会次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 キャラクターデザイン表彰式
- 4 議長の選出
- 5 議 事
 - (1) 平成 22 (2010) 年度活動報告について
ながの環境パートナーシップ会議活動の概要
プロジェクトチームからの活動報告
水環境保全、光害対策、「環境総合センター」設置、学校版 EMS、事業者 ISO、
生ごみの削減、トレイ・レジ袋使用削減、市民の森づくり、太陽エネルギー、スキー場跡地
の自然復元、子どもの環境学習支援、ウェザーステーション、カーボンオフセット
 - (2) 平成 22 (2010) 年度収支決算報告について
平成 22 (2010) 年度監査報告について
 - (3) 平成 23 (2011) 年度運営方針(案)について
 - (4) 平成 23 (2011) 年度活動目標・行動計画(案)について
 - (5) 平成 23 (2011) 年度収支予算(案)について
 - (6) 会則の一部改正(案)について
 - (7) その他
- 6 閉 会

～ 総会内容について～

1. 開会 (事務局長)

定刻につき会員数、出席者数及び委任状の提出数が総会開催定数を満たした報告があり総会が成立し総会を開会する。

2. あいさつ (弓場代表幹事)

本日の総会は、環境パートナーシップ会議の会員として、長野市の環境ビジョン実現に向かって立案したアジェンダに、それぞれどのように取り組んできたのか自己評価し、次年度につなげる大切な場です。さらに、新年度についてのそれぞれのチームの計画を発表する場でもあります。新年度には、アジェンダの見直しや、組織・団体運営の見直し、協働のあり方の検討なども行う必要があります。今後、プロジェクト

チームを立ち上げて、議論を始めて参りますので、多くの会員の皆様に参加していただけるようお願い申し上げます。

3 キャラクターデザイン表彰式

受賞者の紹介

- ・最優秀賞 長野市 小宮山れい子さん
- ・優秀賞(2作品) 長野市 小林理恵さん、千曲市 稲玉志津子さん

(1) デザイン募集・審査の経緯について説明 (金井副代表幹事)

P会議では、親しみやすく表現し、見た人が「P会議」のイメージを汲み取れるキャラクターを募集し「一次審査会」では候補作品として「4作品」を決定した。さらに会員皆さんからの投票の結果、長野市 小宮山れい子さんの作品を最優秀作品に決定した。

ネーミングは「キラピー」キラキラと輝き、生き生きと暮らせるようにという願いを込めた。優秀作品に長野市 小林理恵さんと千曲市 稲玉志津子さんに決定した。このキャラクターデザインは、P会議が発行するニュースレター、リーフレット、名刺、封筒等幅広く利用していく。

(2) 受賞者表彰 (弓場代表幹事から受賞者への表彰)

(3) 受賞者よりひとこと (代表 小宮山れい子さん)

4 議長の選出

議長選出について総会出席の会員から選出として、高木副代表を事務局案として推薦し確認する。(全会一致)

5 議事

(1) 平成 22 (2010) 年度活動報告について

ながの環境パートナーシップ会議活動の概要 (事務局から説明)

プロジェクトチームからの 22 年度活動報告と 23 年度活動目標について (チームリーダーから説明)

水環境保全、光害対策、「環境総合センター」設置、学校版 EMS、事業者 ISO、生ごみの削減、トレイ・レジ袋使用削減、市民の森づくり、太陽エネルギー、スキー場跡地の自然復元、子どもの環境学習支援、ウェザーステーション、カーボンオフセット

(2) 平成 22 (2010) 年度収支決算報告について (事務局から説明)

平成 22 (2010) 年度監査報告について (海沼監事)

- ・監査結果は監査報告書のとおりである。
- ・会費未納について早急な対応を求めたい。
- ・業務監査については、「活動のつながり・広がり・深まり」の3つの視点で見せていただいた。プロジェクトが進んでいるところと、進まないところの差が出てきている。幹事会では、チームのサポートをお願いしたい。「つながり」とは、行政・事業者・市民との協働の関係、「広がり」とは会員が増えること、あるいは活動に関わる事業者や市民が増えること、各チームにおいてはこういったことを意識して活動していただくようお願いしたい。

[質 疑]

・繰越金について

予算の半分ほどの金額が繰越になっているが、内容的に変更があったというか？活動においての節約改善や当初想定していた活動ができなかった等。繰越金が大きくなることは、決して良いことではない。節約することも大事だが、予算を有効に使い活動を広げていくことも大事。新年度の予算執行にあたっては留意願いたい。(弓場代表幹事)

・活動報告書の書式について

報告書について数値目標が中長期の目標なのか、22年度の目標なのか、はっきりしない。その数値をキャッチアップするためにどういう活動をしたのか？その結果キャッチアップできたのか？についても様式の改善をされたい。

PDCAをはっきり示した報告書について次年度に向け、フォーマットの改善を検討したい。(弓場代表幹事)

・光害対策について

2月頃に市民会館ライトアップが行われたが、サーチライトが照らしていたのは上空の夜空だったため、「中止できないか」市に相談した。P会議がアジェンダとし市に対して今後の対応について提案したい。

P会議としての意見と行政と連携について対応していくことが大切(弓場代表幹事)

・ライトアップと光害の意識にズレがある。P会議や光害チームとして発信していかないといけない。(光害チーム)

・プロジェクトチームの活動について

チームから報告・提案について、市からコメントが少なく具体的な発展ができないし、活動を展開させたい。

多くの市民や事業者に参加してもらうよう、本来あるべき姿を目指してほしい。

プロジェクト実施会議を開催し、行政の担当部署と実際の政策を協議し、担当部署に呼び掛けていくことは可能。また、審議会にもP会議代表として出席しているので、担当部署に働きかける場はある。P会議の意見を尊重してもらえる体制は整いつつある。(弓場代表、高木副代表)

事務局として、幹事会等要望等あれば市部局への報告はしたい(事務局)

(1)22年度の活動報告及び(2)収支決算について賛成多数により承認される。

(3) 平成 23 (2011) 年度運営方針(案)について (弓場代表幹事)

23年度について、つなぐ役割の明確化外部団体との活動助成、事業者との連携強化、つなぐ役割の再構築、アジェンダ 21 ながのの見直し、アジェンダの推進、シンボル事業の実施、進行管理と情報公開、公益法人化について説明

[質 疑]

・行政、事業者との連携の仕方について

事業者と市担当など含めた検討が必要と思う。

プロジェクト実施会議を利用すると、担当課と直接具体的な話ができるので、有効に活用していただきたい。事業者についても、チームで相談して働きかけることも必要。(高木副代表)

市が遠慮しているのではないかと思う。行政は対等の連携の立場にあるのだから、もっと積極的な提案がほしい。

積極的な参加について事務局も受け止めたい。(事務局)

市民、事業者、行政について事務局に調整をお願いしたい。

プロジェクト実施会議として、市各部署担当との話し合いにより、市民の声として円滑に進めてほしい。この実施会議でかなり解決できるし、森チームも取り組んできた。(森チーム)

この実施会議として各チームも検討することも必要。22年度は、実施会議は無いが、23年度検討することも良いと思う。三者の連携について幹事会でも検討していきたい。(高木副代表)

行政の応援として、市民、事業者、行政はそもそも違う立場なので、どうやって歩み寄っていくかステップを示せば、皆安心して取り組めるのではないか。理想に近づけるためにお互いに歩み寄ることを要望します。

パートにナーシップのあり方や協働について幹事会でしっかり検討したい。(高木副代表)

(3) 平成 23 (2011) 年度運営方針(案)についてと(4)各チーム行動計画について賛成多数により承認される。

(5) 平成 23 (2011) 年度収支予算(案)について (事務局から説明)

[質 疑]

・会員について

委員の状況は

団体は 10 団体、市民が 100 名程、長野市も 1 団体とする。(事務局)

会員の増加対策について

「つなぐ活動」やシンボル事業を通して、増やしていきたい。幹事会が増やすのではなく、各チームで増やす活動にご協力いただきたい。去年は、新しいプロジェクトに新規会員が入っている。新規会員獲得に期待している。(弓場代表)

P 会議としての放射能への対応について

現段階では幹事会で議論していない。プロジェクトを立ち上げて、幹事会で承認されれば、当然支援していく。(弓場代表)

(5)平成 23 (2011) 年度収支予算(案)について賛成多数で承認される。

(6) 会則の一部改正(案)について (弓場代表幹事)

会員について、正会員と賛助会員について会則の一部改正案を説明する。

[質 疑]

・正会員と賛助会員の違いについて

団体でも個人でも賛助会員になれる。正会員との違いは議決権がないこと。趣旨に賛同して、お金は出したいが、活動には関与しませんという会員が増えたときに、欠席され

では困るため、賛助会員を設けている。したがって、正会員よりも賛助会員の会費のほうが高くなることが想定される。(弓場代表幹事)

(6)会則の一部改正(案)について賛成多数により承認される。尚、改正については、本日より施行とする。

(7) その他 (事務局)

第二次環境基本計画について、P会議として勉強会開催のお知らせ
以上予定した議事が終了し、進行を事務局長に返された。

6 閉 会 (事務局長) 午後4時50分散会した。